

橋の魅力発信プロジェクト 3



1. 目的

橋梁業界において人材不足が深刻化するなか、各協会一般市民や学生へのイベント・現場見学会・出前講座などの活動が行われているが、橋梁を志す学生数は未だに低迷している。そこで、従来の「イメージ向上」から「イメージ転換」を図ることをコンセプトとして、(一社)建設コンサルタツ協会 近畿支部と(一社)日本橋梁建設協会 近畿事務所と(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 関西支部 3協会の連携によって「橋の魅力発信プロジェクト」を2016年4月に発足しました。

2. 活動内容

(1) 活動コンセプト

近年、ダムカード・ジャンクション萌え・デザインマンホール蓋・ドボクカフェなどの新たな価値観を取り入れた「ドボク」が人気である。そこで、ドボクエンターテイメントのパイオニアとしてご活躍の京都大学 高橋教授を学識委員として招聘し、マニアックな専門性を面白く伝えることに着目したInstagramをプラットフォームとした。

(2) 第1期：2016.4～2019.3(3カ年)

Instagramに橋梁の設計や施工の投稿することで2600人を超えるフォロワーを獲得したほか、ロゴ・フライヤー・手ぬぐい(葛飾北斎 深川万年橋)・ダヴィンチ橋などを製作した。

(3) 第2期：2019.4～2021.3(2カ年)

Instagramの写真投稿を継続した結果、フォロワー2600→5800人に倍増・いいね数2000・閲覧数34万・動画再生回数1.4万を達成した。さらに、Instagramで人気の「山田全自動」「原田ちあき」と連携してイラストを製作した。特筆すべきは、原田ちあきイラストモバイルバッテリー(プレゼント企画)で原田ちあき氏自身のTwitterつぶやき協力もあり、数日で300人を超える市民や学生から応募(70%以上の急増)とコメントなどの大きな反響があった。

第1期 ダヴィンチ橋



第2期 山田全自動「橋そぞろ」



第2期 原田ちあき

「世界の端と端にたって繋がれる。電波よりももっと強く。」



※山田全自動：シュールな浮世絵風のInstagramが人気(フォロワー数98万人)のイラストレーターで、近年は辻仁成の書籍挿絵なども担当

※原田ちあき：美術家、デザイナー、コピーライターなど幅広いジャンルのアーティストで、ウルフルズやゲスの極み乙女。のグッズデザインやテレビ出演など多岐に活躍

(4) 第3期：2021.4～2023.3(2カ年)

橋の写真だけでは、他のドボク系Instaと同じでつまらない。デジタルネイティブと言われる若い世代の心に刺さる「言葉(メッセージ)とデザイン(イメージ)」を発信するには、委員自身の言語化能力や美意識の養成が必要ではないか。

これまでの活動費(現予算30万円/1協会)に加えて、発信力(アウトプット)の向上を目的としたハイカルチャーの講演やワークショップも受講したいと考えています。継続可否と合わせて、予算増額(来年度予算40or50万円/1協会)もご検討いただきたいです。